

施策番号	1801	成果指標					
		指標名	単位	区分	H29	H30	R1
施策名	区民の文化・芸術への参加意欲を高め、地域文化・芸術を創造します	最近1年間に葛飾区内の音楽や美術などの催し物に行ったことのある区民の割合	%	目標	25.0	26.0	19.0
				実績	16.0	19.8	18.4
		鑑賞事業の入場率	%	目標	77.5	78.0	80.0
				実績	82.0	86.4	87.6
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

		事務事業	担当課	区分	頁
	計画	文化芸術創造のまちかつしか推進事業	文化国際課	◎	1099
		文化会館・亀有文化ホール管理運営	文化国際課	◎	1101
		文化芸術創造事業運営	文化国際課	◎	1103
		区民総合芸術祭典	生涯学習課	◎	1105
		区民文化祭	生涯学習課	◎	1107
		合唱祭	生涯学習課	◎	1109
		文化財保護普及・啓発	生涯学習課	◎	1111
		文化協会助成	生涯学習課	○	1113
		文化財保護奨励金	生涯学習課	○	1114
		発掘調査等文化財保護	生涯学習課	○	1115
		文化財保護審議会	生涯学習課	○	1116
		JOBANアトライン協議会	文化国際課	○	1117
		美術品展示器具設置	文化国際課	○	1118
		文化団体助成	文化国際課	○	1119

※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。
 ※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。
 ※「○」は、事務事業一覧表を作成した事務事業であることを表します。

事務事業評価表

事務事業名	文化芸術創造のまちかつしか推進事業						担当部	地域振興部		関係課	—
							担当課	文化国際課			
開始年度	平成12年度						個別計画	—			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	2	項	3	目	6	説明等	1(3)	
事務事業目的	区民が文化芸術に触れ親しみ、区民文化を向上する。										
実施内容	<p>多くの区民に文化芸術活動への参加機会を提供するため、区民ニーズや地域の特性を踏まえた区民参加型事業を実施する。</p> <p>【活動内容】</p> <p>○かつしかオリジナル作品公募事業 下町情緒あふれる人情豊かなまち葛飾の良さを多くの人に知っていただくとともに、葛飾区から新たな文化を発信するため、葛飾区を舞台としたオリジナル文学作品を公募し、作品集を出版するとともに、大賞作品を舞台演劇等により発表する。</p> <p>○公募型文化芸術事業（地域コンサート） 音楽によって地域文化を活性化するため、地域の自治会、商店街、NPO等の団体が主催する音楽イベントを企画募集し、審査のうえ事業費の一部を助成する。</p> <p>【過去の改善実績】 指定管理者との週次・月次会議、四半期報告・年度報告や随時の会議において、指定管理者が行う事業の課題等を分析し、参加した区民の満足度や経費の効率性、文化芸術性の向上などの観点から、的確なアドバイスを実施した。このことにより、年度を通じて事業が円滑に進められ、参加者満足度の維持・向上につなげている。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
成果	かつしかオリジナル作品公募事業及び公募型文化芸術事業の延べ区民参加者数	参加者アンケートより算出	人	目標	—	30,000	30,900
				実績	27,125	33,558	27,202
成果	公募型文化芸術事業の参加者満足度	参加者アンケートより算出	%	目標	—	85	85.5
				実績	84.7	81.3	77.0
成果	かつしかオリジナル作品公募事業及び公募型文化芸術事業の区民参加率	(参加区民数/参加者数) × 100	%	目標	73.5	74.0	74.5
				実績	65.5	68.3	69.2
活動	かつしかオリジナル作品公募事業	—	—	目標	脚本化	公演	作品募集
				実績	脚本化	公演	作品募集
活動	公募型文化芸術事業	—	事業	目標	10	10	12
				実績	7	12	9
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	160	27	28
	一般財源	(a)	19,074	22,250	18,651
支出	直接事業費	(b)	17,234	20,302	16,704
	職員人件費	(c)	2,000	1,975	1,975
		業務量（人）	0.25	0.25	0.25
	間接費	(d)	0	0	0
	調整額	(e)	238	250	225
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	238	250	225
		（控）コスト対象外	0	0	0
トータルコスト	(f=b+c+d+e)	19,472	22,527	18,904	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1	
単位の定義	延べ参加者数（人）			
実績数値	(g)	41,397	49,133	39,295
単位あたり区単コスト	(a/g)	461	453	475
単位あたりコスト	(f/g)	470	458	481

実施状況に対する評価	<p>かつしかオリジナル作品公募事業は、「第4回かつしか文学賞」の初年度で、作品公募を行った。計116作品の中から、大賞作品「立石ロッキー」をはじめ、計4作品が受賞した。来年には「大賞作品の脚本化・公演キャスト募集」を行い、再来年の公演に向けて取り組んでいく。</p> <p>なお、第3回で優秀賞を受賞した酒本歩氏がプロ作家デビューし、順調に2作目を発表するなど、本取組が着実に実を結んでおり、文学賞をきっかけとした可能性が期待できるものとなった。</p> <p>地域コンサートは、合同PRポスターを作製し、駅貼りや電車内に中吊りをするなど、PRを工夫し、効果をあげている。昨年度と比較して満足度は減少したが、参加者の意見からは「キャストのマンネリ化・昨年より見劣りした」といった意見などがあり、継続して実施していくにあたっての課題も見られた。また、新型コロナウイルスの影響などにより、予定していた2事業が中止となっている。</p>
今後の方向性【継続】	<p>かつしかオリジナル作品公募事業は、3か年で1事業期間である。現在4回目が順調にスタートしたところである。これまでの実績・成果を踏まえ、広報宣伝や実施時期などについて、より効果的な方法を検討しつつ継続して実施する。</p>

事務事業評価表

事務事業名	文化会館・亀有文化ホール管理運営						担当部	地域振興部	関係課	—
							担当課	文化国際課		
開始年度	平成4年度						個別計画	—		
根拠法令	葛飾区文化会館条例、葛飾区亀有文化ホール条例									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	3	目	6	説明等	1(1)
事務事業目的	文化振興及び国際交流の推進拠点として、施設を快適で安全に利用することができる。									
実施内容	<p>【概要】 文化会館及び亀有文化ホールの管理・運営</p> <p>【活動内容】 ①文化会館及び亀有文化ホールの維持管理 ②鑑賞事業運営 ③施設の貸出 ④文化会館来客用駐車場運営等</p> <p>【過去の改善実績】 ・指定管理者制度の導入（平成18年度から導入） ・指定管理者との定例会議において、公演入場者数及び施設利用率の実績把握に努めるとともにさらなる利用者増を目指して区民への広報宣伝方法の工夫や接遇向上への取り組み等を指導した。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
成果	稼働率	年間利用区分数/年間利用可能区分数×100	%	目標	50	50	50
				実績	51	51	48
活動	平均入場者数	総入場者数/公演数	人	目標	640	640	660
				実績	681	729	713
活動	年間施設利用可能区分数	—	区分	目標	60,000	60,000	60,000
				実績	59,168	59,985	59,091
活動	年間鑑賞事業公演数	—	件	目標	72	72	70
				実績	72	72	67
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1		
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0	
		都道府県支出金	0	0	0	
		その他	0	0	0	
	一般財源	(a)	638,702	580,781	775,448	
支出	直接事業費	(b)	632,232	575,646	770,313	
	職員人件費	(c)	5,200	5,135	5,135	
		業務量（人）		0.65	0.65	0.65
	間接費	(d)	1,270	0	0	
	調整額	(e)	618	650	585	
		減価償却費		0	0	0
		金利		0	0	0
		退職給与引当		618	650	585
		（控）コスト対象外		0	0	0
	トータルコスト	(f=b+c+d+e)	639,320	581,431	776,033	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1	
単位の定義	管理対象面積（㎡）			
実績数値	(g)	23,811	23,811	23,811
単位あたり区単コスト	(a/g)	26,824	24,391	32,567
単位あたりコスト	(f/g)	26,850	24,419	32,591

実施状況に対する評価	—
今後の方向性	—

事務事業評価表

事務事業名	文化芸術創造事業運営						担当部	地域振興部		関係課	—
							担当課	文化国際課			
開始年度	平成2年度						個別計画	—			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	2	項	3	目	6	説明等	1(2)	
事務事業目的	区民が文化芸術に触れ親しみ、区民文化を向上する。										
実施内容	<p>【概要】 区民ニーズを踏まえた文化芸術体験講座等ワークショップの企画実施や、アマチュア演奏団体の活動支援などにより、多くの区民に文化芸術活動への参加機会や、文化芸術に触れ親しめる機会を提供する。</p> <p>【活動内容】 ○区民参加型体験講座 ○区民参加型ワークショップ事業 ○区内各施設での公演等のアウトリーチ事業 ○美術等の展示事業 ○シンフォニーヒルズ少年少女合唱団の育成 ○葛飾吹奏楽団・葛飾フィルハーモニー管弦楽団の活動支援</p> <p>【過去の改善実績】 ・指定管理者制度の導入（平成18年度導入） ・指定管理者との週次・月次会議、四半期報告・年度報告や随時の会議において、指定管理者が行う事業の問題点を分析し、参加区民の満足度や経費の効率性、文化芸術性の向上などの観点に基づき、的確なアドバイスを実施した。このことにより、年度を通じて事業が円滑に進められ、参加者満足度が向上した。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
活動	延べ参加者数	—	人	目標	28,800	28,800	28,800
				実績	24,729	23,669	21,013
活動	事業数	文化芸術創造事業数	件	目標	39	34	34
				実績	39	34	32
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1		
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0	
		都道府県支出金	0	0	0	
		その他	0	0	0	
	一般財源	(a)	20,771	21,271	21,047	
支出	直接事業費	(b)	18,771	19,296	19,072	
	職員人件費	(c)	2,000	1,975	1,975	
		業務量（人）		0.25	0.25	0.25
	間接費	(d)	0	0	0	
	調整額	(e)	238	250	225	
		減価償却費		0	0	0
		金利		0	0	0
		退職給与引当		238	250	225
		（控）コスト対象外		0	0	0
トータルコスト	(f=b+c+d+e)	21,009	21,521	21,272		

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1	
単位の定義	延べ参加者数（人）			
実績数値	(g)	24,729	23,669	21,013
単位あたり区単コスト	(a/g)	840	899	1,002
単位あたりコスト	(f/g)	850	909	1,012

実施状況に対する評価	—
今後の方向性	—

事務事業評価表

事務事業名	区民総合芸術祭典						担当部	教育委員会事務局		関係課	—
							担当課	生涯学習課			
開始年度	昭和57年度						個別計画	—			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	6	目	1	説明等	8(3)	
事務事業目的	日頃から熱心に文化芸術活動に取り組んでいる会員が、総合芸術祭典の開催によって、目標を持って更に活発な活動をする。各団体が協力し合い事業を主体的に実施することで、各団体間の交流を深め、文化活動を活性化する。区民に鑑賞してもらうことを通じ、会員が区民の文化芸術活動に貢献する。										
実施内容	<p>【概要】 文化協会との共催事業である総合芸術祭典を区民文化振興の観点から支援し、経費の一部を負担する。</p> <p>【活動内容】 ○主催 葛飾区文化協会 葛飾区教育委員会 ○実施時期 6月 ①発表の部（葛西囃子・吟剣詩舞道・日本舞踊・民謡民舞2団体・謡曲・新舞踊・三曲） ②展示の部（書道・華道・俳句・短歌・川柳）（茶席）展示の部と同時開催（写真） ③大会の部 囲碁・将棋 ○参加者 発表・展示の部は文化協会加盟団体会員、大会は区民一般参加あり ○周知方法 広報紙他 ○費用 区負担（プログラム印刷、会場・付帯設備使用料）協会負担（ポスター印刷他）</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
活動	来場者数	—	人	目標	1,700	1,600	1,700
				実績	1,485	1,716	1,575
活動	参加者満足度	(好評回答数/アンケート回収数) × 100	%	目標	90	90	90
				実績	84	87	84
活動	参加者数	—	人	目標	720	720	720
				実績	602	539	478
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	2,914	2,910	2,882	
支出	直接事業費 (b)	514	540	512	
	職員人件費 (c)	2,400	2,370	2,370	
		業務量（人）	0.30	0.30	0.30
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	285	300	270	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	285	300	270
		(控) コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	3,199	3,210	3,152	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	来場者数（人）		
実績数値 (g)	1,485	1,716	1,575
単位あたり区単コスト (a/g)	1,962	1,696	1,830
単位あたりコスト (f/g)	2,154	1,871	2,001

実施状況に対する評価	来場者数、参加者数共に前年比減となっているが、参加者満足度は、8割を超える高い評価を得ている。来場者数、参加者数は、総合芸術祭典おける「発表の部」の演目等により、変動が生じることも一因と考えている。事業の実施にあたっては、共催者である「葛飾区文化協会」と意見交換をしながら、良好に実施できている。
今後の方向性【継続】	総合芸術祭典は、葛飾区文化協会に加盟する各団体の発表・活動の場として定着しており、開催を楽しみにしている区民も多数いるなど、区内の文化振興を図る事業としての意義は非常に大きい。開催にあたっては、加盟団体の構成員がイベント当日の役割も担う等、協会と区との協働による事業としての認識も共有されている。今後は新型コロナウイルス感染症をはじめとする各種の感染症拡大防止のため、「新しい生活様式」を踏まえた開催に向けて葛飾区文化協会と取り組み、区民に対する事業内容の周知に努めながら、区内に文化芸術活動が広まるように実施していきたい。

事務事業評価表

事務事業名	区民文化祭						担当部	教育委員会事務局		関係課	—
							担当課	生涯学習課			
開始年度	昭和30年度						個別計画	—			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	6	目	1	説明等	8(1)	
事務事業目的	<p>区が文化祭という発表の場を提供することによって、文化芸術活動に日頃から取り組んでいる区民が、目標を持って更に生き生きと活動できる。区民が文化祭に参加・鑑賞することによって身近な文化・芸術に親しみ、日本の伝統文化の継承活動に対する関心や参加意欲を高めていく。</p>										
実施内容	<p>【実施内容】 ○10月初旬～11月中旬までの約40日間、17種目に分けて実施 ○文化協会加盟17団体との共催実施（発表・展示・大会等）、葛飾区合唱連盟との共催実施（合唱の部）、その他の種目の発表の場（フリーステージ）は区主催 ○リリオホール・シンフォニー・テクノプラザ・3地区センターの施設を使用 ○賞状・トロフィーの授与あり（10部門） ○周知方法 広報紙他 ○募集方法 文化協会加盟団体種目は各団体において、その他は生涯学習課 ○費用負担 区負担分（会場使用料、ポスター等の印刷、謝礼等報償費、設営委託料等） 参加団体負担分（出展・出品にかかる経費）</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
活動	来場者数	—	人	目標	6,000	6,000	6,000
				実績	5,057	5,122	3,773
活動	参加者満足度	(好評アンケート数/アンケート回収数) × 100	%	目標	75	85	90
				実績	85	86	89
活動	種目数	—	種目	目標	17	17	17
				実績	17	17	16
活動	参加者数	—	人	目標	3,400	3,400	3,400
				実績	2,561	2,712	2,704
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	7,304	8,514	8,575	
支出	直接事業費 (b)	4,104	4,169	4,230	
	職員人件費 (c)	3,200	4,345	4,345	
		業務量（人）	0.40	0.55	0.55
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	380	550	495	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	380	550	495	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	7,684	9,064	9,070	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	来場者数（人）		
実績数値 (g)	5,057	5,122	3,773
単位あたり区単コスト (a/g)	1,444	1,662	2,273
単位あたりコスト (f/g)	1,519	1,770	2,404

実施状況に対する評価	<p>開催回数が64回となる歴史ある事業であり、共催する各大会等の運営は、葛飾区文化協会と区との協働事業として、意見の交換等しながら実施している。また、多数の区民が参加・来場を楽しみにしているなど、文化・芸術活動の発表の場として、また文化・芸術に親しむことができる催しとして定着している。</p> <p>令和元年度は、文化祭の実施日に台風が直撃した影響により、中止となった大会や平日に開催日を変更した大会があったことから、来場者数や種目数が減少となっている。</p>
今後の方向性【継続】	<p>区民文化祭は、共催する葛飾区文化協会に加盟する団体だけでなく、加盟団体以外の参加者も多く、広く文化芸術活動を参加・鑑賞できる場として定着している。今後も、文化祭における各大会の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症などの感染症拡大防止を図り、「新しい生活様式」を踏まえた開催に向けて、葛飾区文化協会と連携をさらに深めることで、新たな参加者や来場者の掘り起こしに取り組んでいく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	合唱祭						担当部	教育委員会事務局		関係課	—
							担当課	生涯学習課			
開始年度	昭和63年度						個別計画	—			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	6	目	1	説明等	8(2)	
事務事業目的	<p>練習成果の発表の場と交流機会を提供することによって、団体の出演意欲を持たせるとともに活動の活性化を促し、区民の合唱技術の向上につなげる。また、合唱祭への来場を促進し、合唱活動を通して区民の文化活動を振興する。</p>										
実施内容	<p>葛飾区合唱連盟と共催で開催。 ○年に1回、毎年6月に開催 令和2年度は令和3年にシンフォニーヒルズが改修予定のため、6月、2月の2回開催予定。6月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>○役割分担 区分担…会場使用にかかる経費、講師謝礼、広報活動 合唱連盟分担…プログラム作成、運営にかかるその他経費、実際の運営</p> <p>○運営 実行委員会形式により、運営にかかる委員を、合唱連盟加盟団体や出演団体が自主的に分担し、開催している。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
活動	来場者数	合唱祭への来場者・参加者	人	目標	1,400	1,400	1,400
				実績	1,356	1,383	1,328
活動	出演団体満足度	合唱祭出演者に実施しているアンケート結果	%	目標	85	85	85
				実績	86	82	88
活動	出演団体数	合唱祭への出演団体	団体	目標	35	35	35
				実績	34	35	32
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	3,315	3,255	3,296	
支出	直接事業費 (b)	915	885	926	
	職員人件費 (c)	2,400	2,370	2,370	
		業務量（人）	0.30	0.30	0.30
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	285	300	270	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	285	300	270
		(控) コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	3,600	3,555	3,566	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	来場者数（人）		
実績数値 (g)	1,356	1,383	1,328
単位あたり区単コスト (a/g)	2,445	2,354	2,482
単位あたりコスト (f/g)	2,655	2,570	2,685

実施状況に対する評価	<p>合唱活動の練習成果の発表の場として、例年30団体程度、のべ600人～700人程度出演している。65歳以上の出演者が半数程度を占めており、出演団体は年々高齢化している一方、区内の小学生のクラブや団体が出演するなど、幅広い年齢層が参加するイベントとなっている。運営については、定期的に共同開催の葛飾区合唱連盟と打合せ及び意見交換を行い、講師謝礼等を現在の時間に適応したものにするなど、改善に取り組んでいる。</p>
今後の方向性【継続】	<p>多くの来場者に鑑賞してもらい合唱に興味をもってもらえるよう、引き続き周知への取り組みを強化していく。</p> <p>共催相手である、葛飾区合唱連盟からの参加者が年々高齢化しているため、新たに高校・大学生の参加者を募り参加してもらうことで、将来に向けても合唱を行いたくなるようなきっかけづくりとなるよう取り組んでいきたい。そのため、合唱を継続している人だけでなく、はじめるきっかけが無かった人にも、合唱祭が合唱活動を始めるきっかけとしたイベントになるような方策を検討していく。</p> <p>また、運営側の高齢化と人員不足にともない、当日の準備や役割分担等の負担感が増しており、負担の縮小が図られるような解決方法を、葛飾区合唱連盟と検討する。</p>

事務事業評価表

事務事業名	文化財保護普及・啓発						担当部	教育委員会事務局	関係課	—
							担当課	生涯学習課		
開始年度	平成3年度						個別計画	—		
根拠法令	文化財保護法									
予算説明書	会計	一般	款	8	項	6	目	1	説明等	9(3)
事務事業目的	地域の文化財に関する区民の認識を深め、郷土愛を育むとともに、区内の文化財を適切に保護・周知し、後世に伝えていく。									
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財保護推進委員 区内19地区の自治町会連合会から、各1人ずつ推薦された19人の文化財保護推進委員による文化財愛護思想の普及・啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財めぐり（年3回） ・情報誌（かつしかの文化財）発行（年3回） ・文化講座（年1回） ・かつしかFMでの周知放送（年9回） ○埋蔵文化財の周知 埋蔵文化財保護の手引、遺跡地図の作成・配布、広報かつしかでの記事掲載及びかつしかFMでの埋蔵文化財関係の放送（年3回） ○葛飾柴又の文化的景観の国の重要文化的景観選定に向けた取組み 平成22年度：予備調査 平成23年度～26年度：柴又地域文化的景観調査委員会による史料調査、報告書刊行（26年度） 平成27年度・28年度：保存計画策定、重要文化的景観（重要な構成要素）に選定されることについての同意取得、保存のルール・体制作り等を柴又地域文化的景観検討委員会で検討 平成29年7月：国（文部科学大臣）への重要文化的景観に係る選定申出 平成30年2月：重要文化的景観に選定 令和元年～：整備計画策定 									

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
活動	報告書、情報誌の発行部数	文化財に関する報告書、情報誌の発行部数	部	目標	14,000	14,000	14,000
				実績	14,000	14,000	10,500
活動	文化財関係の刊行物の発行回数	文化財情報誌等の発行回数	回	目標	4	4	4
				実績	4	4	3
活動	講座等参加者数	文化的景観説明会・フォーラム、文化財めぐり等の参加者数	人	目標	500	500	500
				実績	477	233	120
活動	講座等の開催回数	文化的景観説明会・フォーラム、文化財めぐり等の開催回数	回	目標	10	10	10
				実績	8	4	3
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定 財源	国庫支出金	1,856	2,162	3,143
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	31	301	304
	一般財源 (a)	8,129	17,285	14,792	
支出	直接事業費 (b)	6,942	15,808	14,518	
	職員人件費 (c)	1,200	2,370	1,975	
		業務量（人）	0.15	0.30	0.25
	間接費 (d)	1,874	1,570	1,746	
	調整額 (e)	143	300	225	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	143	300	225	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	10,159	20,048	18,464	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	講座等参加者数（人）		
実績数値 (g)	477	233	120
単位あたり区単コスト (a/g)	17,042	74,185	123,267
単位あたりコスト (f/g)	21,298	86,043	153,867

実施状況に対する評価	<p>文化財めぐりは、新型コロナウイルス感染症の関係で1回減となり年2回の開催となった。ただし、話題性の高いテーマを取り上げる等の工夫し、多くの区民に参加してもらっていることから、地域の文化財に関する区民の認識を深め、郷土愛を育むとの事業目的は達成できた。また、かつしかFMで年9回文化財をテーマとしたミニ番組を放送するとともに、情報誌「かつしかの文化財」は新型コロナウイルス感染症の影響で1回減となり年3回発行となったが、区内の文化財について区民への周知を図った。</p> <p>なお、これらの事業については文化財保護推進委員の意見を取り入れており、年間で6回の会議を通じて、委員との情報共有を密に行うとともに活発な議論となるよう推進した。葛飾柴又の文化的景観について、整備計画策定のための地元住民とのワークショップを行っていく予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度に延期となった。</p>
今後の方向性【改善】	<p>令和元年度に中止となった文化財めぐりの内容を令和2年度の初回に引き継ぐとともに、情報誌「かつしかの文化財」の未発行の1回を令和2年度の初回に発行を繰り越した。</p> <p>また、地域に埋もれた区指定・登録の文化財になりえる可能性のある資料等について、後世に残していくことと、地域文化財としての活用による地域活性化を目的に「地域文化財制度」を創設する。</p> <p>今後、文化財ごとに、文化財の有効活用（観光、街づくり推進）や適切な維持管理のルールを作成するため、専門家を交えた検討を行うほか、子どもたちの郷土学習における実物の教材としての文化財の活用を促進し、文化財を通して葛飾の歴史を感じ、学ぶことのできる活用方法に取り組んでいく。</p> <p>文化的景観については、整備計画策定のためのスケジュールに沿って、地元の意見を取り入れるためのワークショップの開催や、重要な構成要素保存・活用のための指針などを検討して、整備計画を策定する予定。</p>

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課			H29	H30	R1	単位	H29	H30	R1			
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
文化財保護奨励金				教育委員会事務 生涯学習課		—	収入	特定財源	0	0	0	指定・登録文化財保護奨励金支出件数	件	164	175	174
								一般財源	1,820	1,715	2,100					
一般	8	6	1	9(5)			支出	事業費	1,420	1,320	1,310	—	—	—	—	—
区指定登録文化財所有者・管理者等に、毎年の申請に基づき、文化財保護奨励金を交付。 区指定文化財：10,000円～50,000円／件 登録文化財：5,000円／件								人件費	400	395	790					
						業務量(人)	0.05	0.05	0.10	—	—	—	—			
						間接費	0	0	0							
						調整額	48	50	90							
						トータルコスト(a)	1,868	1,765	2,190	—	—	—	—	—	—	
						単位当たりコスト(円) (a/b)	11,387	10,086	12,586	—	—	—	—	—	—	

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課			収入	H29	H30	R1	単位	H29	H30	R1		
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
発掘調査等文化財保護				教育委員会事務		—	収入	特定財源	2,040	2,100	2,362	試掘調査件数	件	31	29	26
				生涯学習課				一般財源	17,350	16,198	13,792					
一般	8	6	1	9(4)		支出	事業費	10,667	11,337	11,019	立会調査件数	件	31	25	13	
○葛飾区遺跡調査会への委託 埋蔵文化財の発掘調査及び出土資料等の整理作業と発掘調査報告書の作成、立会調査・試掘調査							人件費	5,600	4,345	5,135						
						○調査成果の公開 区内施設や区立小中学校への発掘調査報告書の配布						業務量(人)	0.70	0.55	0.65	トータルコスト (a)
間接費	3,123	2,616	0													
						調整額	665	550	585							
						単位当たり コスト(円) (a/b)	646,935	649,931	643,808							

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
				担当課			H29	H30	R1	単位	H29	H30	R1			
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
文化財保護審議会				教育委員会事務		—	収入	特定財源	0	0	0	会議開催数	回	4	2	0
				生涯学習課				一般財源	2,763	2,792	2,744					
一般	8	6	1	9(2)		支出	事業費	314	165	0	—	—	—	—	—	
昭和61年度設置 審議会は年2～4回開催、委員数6人 葛飾区指定・登録文化財の候補物件、葛飾区指定・登録文化財の指定・登録の内容等の見直しについて、調査・審議し、教育委員会へ建議を行う。また、教育委員会から諮問を受けて葛飾区指定・登録文化財として新たに指定・登録すること及び既に葛飾区指定・登録文化財として指定・登録されているものを解除することについて答申を行う。							人件費	1,200	1,580	1,580						
						業務量(人)	0.15	0.20	0.20	調整額	143	200	180			
						間接費	1,249	1,047	1,164		トータルコスト (a)	2,906	2,992	2,924		
						単位当たり コスト(円) (a/b)	726,375	1,496,000	—	—	—	—	—	—		

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）						
				担当課													
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																	
事業内容																	
										H29	H30	R1					
													単位	H29	H30	R1	
美術品展示器具設置				地域振興部		—	収入	特定財源	0	0	0	美術品展示か所数	所	6	7	5	
				文化国際課				一般財源	539	805	526						
一般	2	3	6	1(4)			事業費	139	410	131							
<p>区施設の壁面等を、絵画や書、写真等の美術作品の展示場所として区内で活動する美術団体に無償で貸し出している。</p> <p>美術団体の意向を踏まえながら、施設の管理運営上支障がなく展示が可能な場合にピクチャーレール、照明等を設置して美術作品を展示できるようにする。</p> <p>美術作品の展示に当たっては、作品を提供する団体と区が覚書を締結して実施し、原則として作品の展示期間は限定、展示作品は展示期間内において複数回展示替えをすることとし、閲覧する区民等が絶えず新鮮な作品を鑑賞できるようにする。</p> <p>区は、展示作品について区ホームページ等で一般に周知する。</p> <p>また、区が所有している美術品についても、区民事務所等の区民が多数利用する施設に展示し、定期的に展示替えを行う。</p>							支出	人件費	400	395	395						
								業務量(人)	0.05	0.05	0.05						
								間接費	0	0	0						
								調整額	48	50	45						
							トータルコスト	587	855	571							
							(a)										
							単位当たり										
							コスト(円) (a/b)	97,750	122,143	114,200							

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等 (千円)			活動指標 (b)						
				担当課			H29	H30	R1	単位	H29	H30	R1			
予算説明書 (会計、款、項、目、説明等)																
事業内容																
文化団体助成				地域振興部		—	収入	特定財源	0	0	0	助成件数	件	2	2	2
				文化国際課				一般財源	1,400	1,395	1,395					
一般	2	3	6	1(5)			事業費	1,000	1,000	1,000						
<p>【概要】 区民を中心に構成されている葛飾吹奏楽団及び葛飾フィルハーモニー管弦楽団に対して、2団体合わせて100万円(予算額)を限度に、その活動内容・活動量に応じ活動経費の一部を助成する。</p> <p>【手段】 当該年度内の演奏会への出演、コンクールでの成績、区民を対象とした文化芸術講座等の活動実績により、ポイント制で助成金額を積算する。積算額と対象経費の実支出額を比較し、いずれか低い額を助成額とする。</p> <p>○計算方法 予算額×(申請団体獲得点数/全申請団体獲得点数)</p> <p>○ポイント項目(各件数毎に積算)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演奏会等への出演 1点 ・コンクール等への出演(金賞) 3点 ・(銀賞) 2点 ・(銅賞) 1点 ・区民を対象とした文化芸術講座等の実施 1点 							支出	人件費	400	395	395					
							業務量(人)	0.05	0.05	0.05						
							間接費	0	0	0						
							調整額	48	50	45						
							トータルコスト (a)	1,448	1,445	1,440						
							単位当たりコスト(円) (a/b)	723,750	722,500	720,000						

施策番号	1802	成果指標					
		指標名	単位	区分	H29	H30	R1
施策名	お互いの国の文化や習慣を理解し、外国人区民、日本人区民が共生する地域社会をつくります	最近1年間に葛飾区内で外国人と交流を持ったことのある区民の割合	%	目標	16.5	13.0	12.5
				実績	11.5	12.6	11.0
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

		事務事業	担当課	区分	頁
	計画	多文化共生社会の推進	文化国際課	◎	1121
		外国人生活相談	文化国際課	◎	1123

- ※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。
 ※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。
 ※「○」は、事務事業一覧表を作成した事務事業であることを表します。

事務事業評価表

事務事業名	多文化共生社会の推進						担当部	地域振興部		関係課	—
							担当課	文化国際課			
開始年度	昭和61年度						個別計画	—			
根拠法令	実施内容欄に記載										
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	1	説明等	10(3)	
事務事業目的	外国人区民と日本人区民が相互に理解し合い、お互いの文化や習慣を尊重し合いながら暮らせる社会を実現する。										
実施内容	<p>友好都市・姉妹都市・交流都市等との交流を進めるとともに、外国人区民と日本人区民の相互理解・交流を深める事業の実施、ボランティア等の多文化共生に資する活動を支援する。</p> <p>【活動内容】</p> <p>①友好・姉妹都市をはじめとする外国都市との交流…ホームステイや友好訪問団等の派遣・受け入れ事業 〔主な交流先〕 ウィーン市フロリズドルフ区、北京市豊台区、ソウル特別市麻浦区、マレーシア・ペナン州</p> <p>②語学・多文化理解講座の開催 ③ボランティア養成講座の開催 ④民間国際交流団体との協働による国際交流まつり等の実施 ⑤多文化理解促進のための事業 ⑥民間交流団体への事業費助成 ⑦情報提供事業など</p> <p>根拠法令 葛飾区・ウィーン市フロリズドルフ区友好都市宣言、日本国東京都葛飾区と中華人民共和国北京市豊台区との友好交流・協力に関する協定書、日本国東京都葛飾区と大韓民国ソウル特別市麻浦区との姉妹都市提携締結協定書、葛飾区国際交流活動事業助成金交付要綱、葛飾区国際交流ボランティア登録事業実施要綱、葛飾区・ウィーン市フロリズドルフ区友好都市交流団体事業助成金交付要綱</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
成果	最近1年間に葛飾区内で外国人と交流を持ったことのある区民の割合	葛飾区政策・施策マーケティング調査	%	目標	16.5	13.0	12.5
				実績	11.5	12.6	11.0
成果	交流の担い手数	国際交流事業に協力してくれた人の数（国際交流ボランティアとして登録しないものも含む）	人	目標	212	204	214
				実績	194	275	240
活動	外国人区民への情報提供事業	—	事業	目標	3	4	4
				実績	3	3	5
活動	多文化理解講座・交流イベント・オリンピック関連事業等	各種講座等の実施数（連続講座は1回として数える。単年度計）	事業	目標	22	23	23
				実績	22	23	20
活動	団体への助成	—	団体	目標	3	6	7
				実績	4	7	7
活動	友好都市等との受入・派遣事業	—	事業	目標	6	8	9
				実績	10	5	6

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	23,994	23,815	33,094	
支出	直接事業費 (b)	13,924	15,125	14,924	
	職員人件費 (c)	8,800	8,690	18,170	
		業務量（人）	1.10	1.10	2.30
	間接費 (d)	1,270	0	0	
	調整額 (e)	1,045	1,100	2,070	
	減価償却費	0	0	0	
		金利	0	0	0
		退職給与引当	1,045	1,100	2,070
		(控) コスト対象外	0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)	25,039	24,915	35,164		

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	延べ参加者数（事業、交流の担い手数等）（人）		
実績数値 (g)	2,542	4,707	2,616
単位あたり区単コスト (a/g)	9,439	5,059	12,651
単位あたりコスト (f/g)	9,850	5,293	13,442

実施状況に対する評価	<p>友好・姉妹都市等との交流では、豊台区・麻浦区から友好訪問団を受け入れた。また、フロリダ州から青少年ホームステイの受入を行い、マレーシア・ペナン州へは青年ホームステイを派遣したほか、区長・議長による表敬訪問を実施し、一層の親睦を深めた。</p> <p>多文化理解講座では、おもてなしボランティア講座や東京理科大学、オーストリア大使館と連携した事業などに取り組み、参加者から高い評価を得ている。</p> <p>外国人への情報提供事業として「外国人向け生活ガイドブック」を2年に一度改訂しているが、ベースの日本語文について、今注目されている「やさしい日本語」を取り入れ、内容を簡潔に伝えられるように工夫をした。また、公共施設の窓口に携帯型翻訳機を導入するとともに、職員向けには前述のやさしい日本語研修を2回実施し、日本語でのやり取りに不安をもつ外国人区民にも適切なサービスを提供できる環境づくりに取り組んだ。</p>
今後の方向性【継続】	<p>友好都市等との交流事業は、相手側の意向等により実施数の増減が激しいが、年度当初に想定していない事業が複数・重複して実施せざるを得ない状況が生じることにより、拡大傾向にある。友好・姉妹都市等と葛飾区との交流が途絶えることなく継続するよう、今後も関係各課と連携を図りながら交流事業を進めていく。</p> <p>外国人区民人口は増加を続け、今年度全体の5%を占めるまでになった。新型コロナウイルスの影響で若干の減少に転じたが、日本語教育推進法の施行により、日本語習得の機会の充実をはじめとした多文化共生への取組は一層充実を図るとともに、外国人区民に伝えるための情報提供ツールもまた多様な情報化社会に適した方法を常に検討しなければならない。</p> <p>国際交流事業も、新型コロナウイルスの影響により外国人観光客数が大きく変動するなど、状況が一変している。今後は新たな生活を踏まえた事業展開について、指定管理者のノウハウを最大限に活用しながら進め、関係課等と協働で取り組んでいく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	外国人各種相談						担当部	地域振興部	関係課	—
							担当課	文化国際課		
開始年度	平成2年度						個別計画	—		
根拠法令	葛飾区外国人生活相談設置要領、外国人の入国・在留・帰化・就労等手続き相談員取扱い要領									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	1	説明等	10(1)
事務事業目的	外国人区民が、文化や生活習慣などの違いによる悩みや生活上の困ったこと、制度に関する手続き方法などを、気軽に相談できるようにする。									
実施内容	<p>【概要】 在区外国人からの区政及び日常生活一般に関する相談（生活相談）のほか、行政書士による在留資格や就労等手続きに関する専門的な相談（在留等手続相談）に応じ、適切な助言、指導を行うことにより、円滑に日常生活を送れるようにする。</p> <p>【活動内容】 ①生活相談…毎週月曜日12時半～17時に区民相談窓口にて2カ国語（英語、中国語）で相談受付（予約不要。月曜日が祝休日の場合、火曜日実施）。区役所関係部署に連絡・案内のほか、関係機関への問い合わせを適宜行い、問題の解決を図る。 ②在留等手続相談…毎月第2金曜日13時～16時に区民相談窓口にて簡単な日本語で相談受付（予約不要）。外国人の雇用主である事業者からの相談も受け付ける。</p> <p>【過去の改善実績】 ・東京都行政書士会葛飾支部の協力を得て、令和元年7月から在留等手続相談を開始した。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
活動	相談率	(相談件数/相談受入可能件数×100) ※相談受入可能件数…生活相談(相談員2人で10人/日)、在留等相談(相談員2人で5人/日)	%	目標	46.5	43.1	44.4
				実績	39.4	38.0	39.8
活動	相談件数	外国人各種相談受付状況	件	目標	237	220	255
				実績	195	188	211
活動	相談受入可能件数	生活相談：相談員2人で10人/日 在留等相談：相談員2人で5人/日	件	目標	510	510	574
				実績	495	495	530
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	2,331	2,326	2,392	
支出	直接事業費 (b)	1,931	1,931	1,997	
	職員人件費 (c)	400	395	395	
		業務量（人）	0.05	0.05	0.05
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	48	50	45	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	48	50	45	
	(控)コスト対象外	0	0	0	
トータルコスト (f=b+c+d+e)	2,379	2,376	2,437		

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	相談件数（件）		
実績数値 (g)	195	188	211
単位あたり区単コスト (a/g)	11,954	12,372	11,336
単位あたりコスト (f/g)	12,200	12,638	11,550

実施状況に対する評価	<p>令和元年7月から新たに在留等相談を開始、従前の生活相談との合計件数は200件を超過した。</p> <p>生活相談員は経験豊富で、行政一般の諸手続きや暮らしにもかかわる相談など様々な相談に対応している。また、相談業務以外にも各窓口職場等からの要請で、戸籍や国保、教育など諸手続きを行う外国人との通訳やかつしかFMの防災情報番組への出演など、実態として活動の幅が広い。</p> <p>在留等相談員は専門である行政書士が担っており、的確な案内を提供している。現在は月1回の実施であるが、今後は相談ニーズなどを踏まえ、適正な相談サービスの提供に努めたい。</p>
今後の方向性【継続】	<p>外国人区民は年々増加しており、本事業のニーズは引き続き高いものとする。</p> <p>一層の周知を図るほか、オンラインをはじめとした新たな相談形式を検討するなど、利用しやすいサービス展開を継続して実施していく。</p>